

処理施設の概要

設定日 平成24年2月1日

改定日 平成30年4月5日

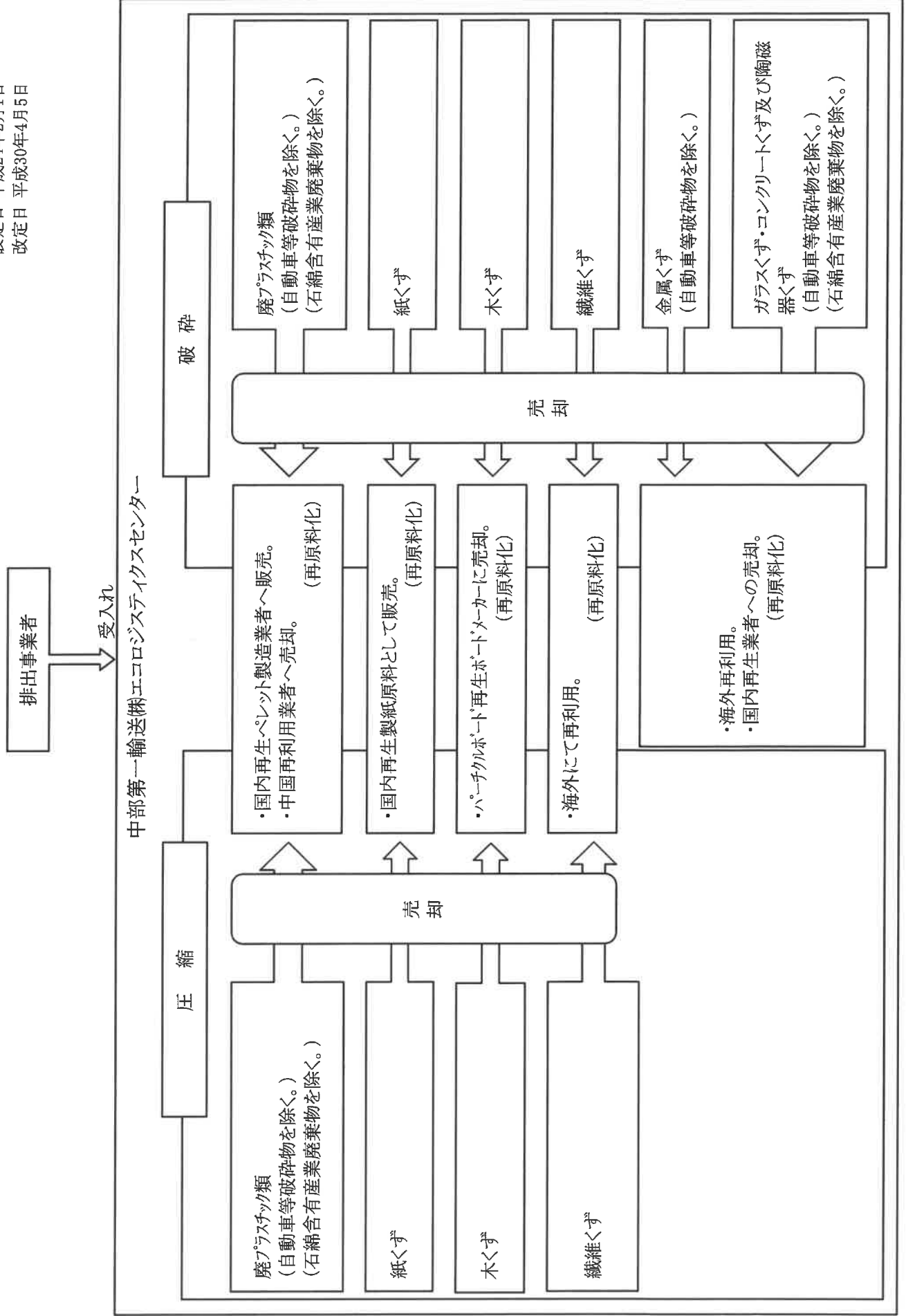
施設の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
圧縮施設 (廃プラスチック類※△) (紙くず) (木くず) (繊維くず)	192 t/日 232 t/日 240 t/日 200 t/日	圧縮	平成16年2月1日設置、平成24年4月20日入替 弥富市荷之上町八平裏319番1 ホッパーに投入し、ベルトコンベアを經由して、圧縮機により圧縮を行う。騒音対策として、低騒音型ベルトコンベア、インバーターモーターを採用する。振動対策として、防振ゴムを土台に設置する。また、騒音・振動を配慮して、建屋内にて作業する。 飛散防止のため、ラッピングマシーンにて圧縮したものを梱包する。
破碎施設 (廃プラスチック類※△) (紙くず) (木くず) (繊維くず) (金属くず※) (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず※△)	4.568 t/日 3.424 t/日 4.112 t/日 2.736 t/日 10.080 t/日 10.960 t/日	破碎	平成18年3月20日設置 弥富市荷之上町八平裏334番1 直接投入し、破碎物をベルトコンベアを經由してフレコンバックに積替える。騒音対策として、低騒音型ベルトコンベア、インバーターモーターを採用する。振動対策として、防振ゴムを土台に設置する。また、騒音・振動を配慮して、ピットを掘ってピット内で作業する。

※ 自動車等破碎物を除く。

△ 石綿含有産業廃棄物を除く。

産業廃棄物の処理行程図

設定日 平成24年2月1日
 改定日 平成30年4月5日



産業廃棄物の処理の行程

設定日 平成24年2月1日
 改定日 平成30年4月5日

排出事業者	
↓	
中部第一輸送㈱エコロジクスセンター	
廃プラスチック類(※、△)	273,760 kg
紙くず	0
木くず	0
繊維くず	0
金属くず	21,020 kg
廃プラスチック類(※、△)	11,780 kg
紙くず	0
木くず	0
繊維くず	0
金属くず(※)	0 kg
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず(※、△)	0
受入量	306,560 kg
処理前、処理後保管量	0 kg
持出量	306,560 kg

※集計期間(平成29年3月-平成30年2月)

※収集した廃棄物は手解体と分別を行い、全てリサイクル原料として売却。

※受入量と処分量は同量である。

※:自動車等破砕物を除く。

△:石綿含有産業廃棄物を除く

→	国内再生ペレット製造業者へ再利用原料として販売
→	中国等再利用業者へ再利用原料として売却
→	国内再生製紙業者へ再利用原料として販売
→	国内再生製紙業者へ再利用原料として販売
→	中国等へ再利用原料(反毛処理)として販売
→	海外にて再利用原料(溶解再生)として販売
→	国内再生業者へ再利用原料として販売
→	国内再生ペレット製造業者へ再利用原料として販売
→	中国等再利用業者へ再利用原料として売却
→	国内再生製紙業者へ再利用原料として販売
→	国内再生製紙業者へ再利用原料として販売
→	中国等へ再利用原料(反毛処理)として販売
→	海外にて再利用原料(溶解再生)として販売
→	国内再生業者へ再利用原料として販売
→	中国等にて再利用原料(カレット)として販売
→	国内再生業者へ再利用原料として販売

